

北海道再生!!

一人に温かい道政

道政ニュース



高橋とおる

発行 2008年 春号 No.10号
高橋とおる事務所自宅 函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867

暫定税率廃止を求める意見書案を説明する高橋道議

道路特定財源問題

道議会でも対立

三月の道議会第一回定例会においても道路特定財源問題は大きな議論となり、私ども民主党・道民連合では、道路特定財源問題について、現在国会で審議中であり、推移を見極めてから対応すべきと主張しましたが、自民党と公明党は、自民党中央からの圧力もあったのか「道路財源維持を訴える意見書」を緊急を要するという理由で議会運営委員会に提出し、本会議一般質問の日程を繰り延べしてまで審議を行うという、自民党と公明党のなりふり構わない横暴な対応が取られました。

このことから、民主党・道民連合でも急遽、一般財源化と暫定税率廃止の意見書を提出して対抗することとなり、意見書の提案説明を行い自公の意見書に対する質疑を行いました。自民党は質問内容に直接答えることは避け、はぐらかしの答弁に終始し自らの意見書の提案説明さえ行うことも無く、全く説得力を欠く内容でした。また、民主党・道民連合の意見書に質疑を行うこともせず、最後は自公の数の力で押し通すという国政の手法を地方議会にも持ち込みました。

世論調査において七割近い国民が一般財源化に賛成している現実は大いなる意味を持つものであり、道内各自治体首長が反対した署名の陰には、国の根回しや圧力があつたことも明らかになりました。

北海道議会議員 高橋 亨